

フォトロゲイニングとは？

- ✓渡された地図、写真を元にチーム毎に作戦を立てる。
- ✓時間内にチェックポイントを回り得点を集める。
- ✓チェックポイントでは見本と同じ写真を撮影する。

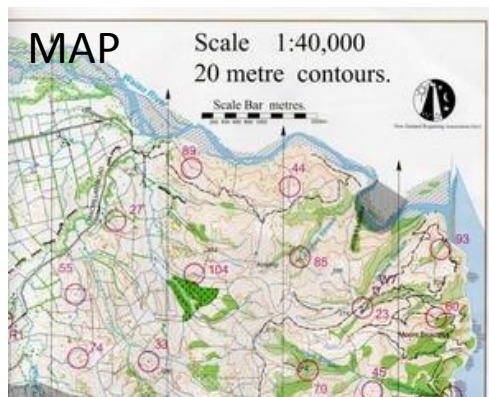
「コミュニケーション・スポーツ」



フォトロゲイニングの成り立ち

ロゲイニング～フォトロゲイニングの歴史

- ・1976年 オーストラリア発祥
- ・1989年 国際ロゲイニング連盟 (IRF) 設立
 - 2002年 日本初「菅平ロゲイニング」開催
 - 2005年 写真形式「奥武蔵レクロゲイン」開催
- ・2007年 日本ロゲイニング協会設立
- ・2009年 フォトリゲイニングの普及活動開始 (主催: TREKNAO)
- ・2012年 日本フォトロゲイニング協会設立



2010年ロゲイニング世界大会 (ニュージーランド)

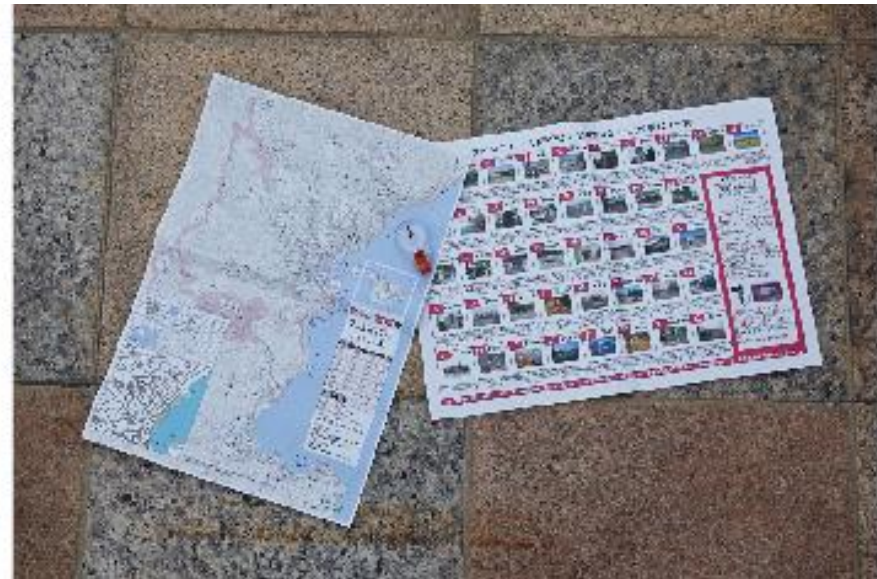
フォトロゲイニングと他競技との比較

	フォトロゲイニング	ロゲイニング	オリエンテーリング
行われる場所	街、里山、山	山	森、公園
範囲	約5×7km	約20×20km	約3×3km
成績	得点の高さ	得点の高さ	時間の短さ
時間	2時間以上	24時間	90分程度
回る順番	参加者の自由	参加者の自由	決められた順番
通過チェック	写真撮影	電子カード	電子カード
参加チーム	2～5人	2～5人	1人
地図	地形図など	植生の入った地形図	国際規程に則った地図
縮尺	1:15000～1:50000	1:25,000～1:50,000	1:15000
移動方法	基本的に徒歩、ランニング	徒歩、ランニング	徒歩、ランニング
装備	補給食など	登山装備に近い	荷物は持たない
装備の制限	制限なし	高度計、電子機器などは不可	高度計、電子機器などは不可

フォトロゲイニングの基本的な流れ

①地図の配布

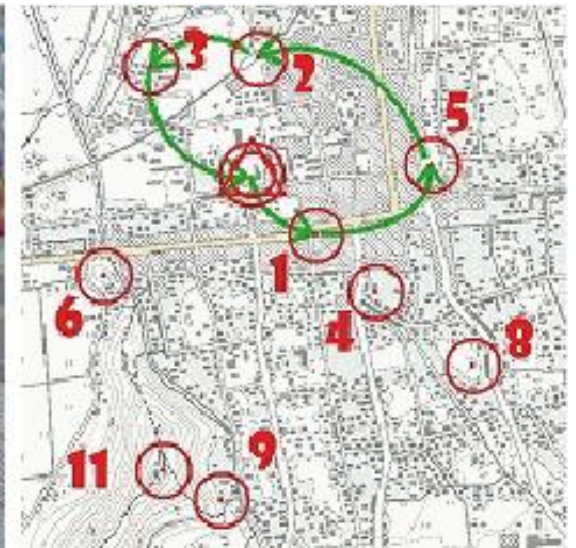
地図とチェックポイントの写真一覧が、参加者にいっせいに配られます。カテゴリ、クラスも共通の地図とチェックポイント写真一覧を使います。主催者から合図があるまで、未だ地図は見れません。



フォトロゲイニングの基本的な流れ

②作戦タイム

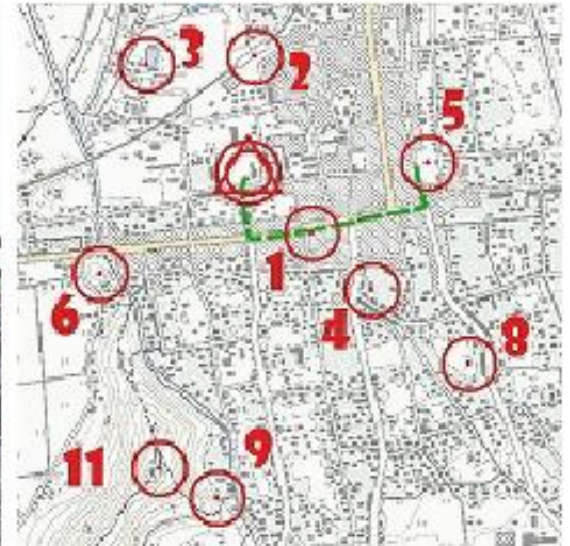
合図と共に地図と写真を見ながら、チームで回るルートを決めます。ルートを選択により、近道や遠回りになったりもします。重要な時間です。



フォトロゲイニングの基本的な流れ

③スタート

走るもよし、歩くもよし、食べながらもよし、全てはチームの方針です。
道に迷ったり、遠回りをしたり、仲間や家族とのやり取りが面白さを広げます。



フォトロゲイニングの基本的な流れ

④チェックポイントへ移動～ポイントゲット！

チェックポイントに到着したら、撮影者以外のメンバーが一覧の写真と同じアングルで撮影をおこないます。その後は、次のポイントのへのルートを確認し、次へのアタックをおこないます。



フォトロゲイニングの基本的な流れ

⑤制限時間にフィニッシュ

フィニッシュでは、設置された時計を撮影します。これがフィニッシュ時刻となります。制限時間ギリギリまでポイントゲットで動けるかがポイントですが、遅刻は1分に付きマイナス50点と大きく、30分以上遅刻で失格となるので注意が必要です。



フォトロゲイニングの基本的な流れ

⑥結果を書き、集計し、写真確認を行う。

フィニッシュ後は、専用用紙にポイント獲得順に結果を記載し集計します。
また、各ポイントと撮影した写真が合っているかをスタッフと共に確認します。



フォトロゲイニングの基本的な流れ

⑦結果速報～表彰

結果の速報や上位フィニッシュ者が回ったルートを掲示します。
その後、表彰式を行います。

